



ふとび

学校給食 地元産食材で、新たなおいしさを発見！



取手第二中学校では、生徒が地産地消や食への理解を深められるよう、取手市産いちごジャムを使った学校給食を提供しました。献立の主食は、ビスケットのような食感の「ビスキュイパン」。生徒からは「取手市産いちごジャムもパンもおいしい！どちらも初めて食べた」、「他にはどんな地元産の食材があるのか知りたい」など、学校給食の食材へ興味を示す声がありました。

「ワクワクしたり挑戦できる場」 VIVAの魅力語る



※アート・コミュニケータであるトリバアとは、人と人をつなぐ対話の場をデザインするプレイヤーです。

VIVAの魅力語る

たいけん美じゅつ場VIVA（アトレ取手4階）で、「シェアするコミュニティ 違いにワクワクできる社会へ」をテーマにフォーラムが開催されました。東京芸術大学学長の日比野克彦氏や秋田公立美術大学教授の藤浩志氏などが登壇。アート・コミュニケータ「トリバア」の3年間の活動を踏まえて、価値観のシェアを楽しみ、学び合うVIVAの魅力について語り合いました。

参加無料 取手ふれあいウォーキング

☎ スポーツ振興課 ☎ 82-7200

約4.5km、8kmのコースを選んで歩きます。ゴールした方には、完歩賞（完歩証明書兼クーポン券）を進呈します。

日時 5月21日(日) 8:30～受付開始 ※雨天中止。中止の場合は21日(日)6:30に態度決定後、市ホームページに掲載

集合場所 取手庁舎前駐車場（福祉交流センター前）

内容 本部テント横に健康チェックコーナーを設けます。完歩賞を入浴施設「湯楽の里（取手庁舎隣）」で提示するとお得に入れます。

定員 先着 200人程度

持ち物 飲み物、タオル、雨具、帽子など

申込 電話か申込フォームから※電話申込は休館日除く

申込期間 5月19日(金)まで



コース概要

▶約4.5kmコース…取手庁舎を発着地とし、東漸寺を経由するコースです。(約1時間30分)

▶約8kmコース…取手庁舎を発着地とし、大日山古墳など、平将門ゆかりの地を経由するコースです。(約2時間30分)

参加無料 取手市民親睦ソフトボール大会

☎ スポーツ振興課 ☎ 82-7200

取手市民親睦ソフトボール大会を開催します。優勝チームには賞状、試合球を進呈します。

日時 6月4日(日) 8:30～開会式

※小雨決行、延期時は11日(日)。延期の場合は4日(日)6:30に態度決定後、市ホームページに掲載

集合場所 取手緑地運動公園少年野球場（利根川河川敷）

対象 以下の全てに該当するチーム

- 市内在住・在勤の中学生以上で、9人以上20人以内※男性が6人以上いれば、女性・小学生を含む混成チームも参加可
- スポーツ安全保険などの傷害保険に加入している
- 塁審などの運営に協力できる

申込 藤代スポーツセンターへ出場者名簿を提出※提出用の出場者名簿は、取手庁舎総合案内・藤代スポーツセンター・取手グリーンスポーツセンターの各窓口配置

申込期間 5月2日(火)～25日(木)

アートによる文化創造の場づくりに挑戦 第2回 取手アートプロジェクト

☎ 文化芸術課 ☎ 内線1292

▶取手井野団地の真ん中にある活動拠点「いこいの+Tappino」

「いこいの+Tappino」は、TAPが取り組むプログラム「アートのある団地」の活動拠点であり、地域の方がのんびり過ごせるコミュニティーカフェです。平成23年から井野団地自治会、取手地区民生委員・児童委員、TAPが市高齢福祉課と連携して共同運営しています。子どもから大人まで、さまざまな世代がこの場所に関わり、アートプログラムやこども食堂などを行うほか、高齢者の憩いの場としても利用されています。

▶ボランティアの皆さんで活動しています

運営は、団地内外のボランティアの皆さんが中心に行っています。一緒に楽しんで、活動してみませんか。

いこいの+Tappino



市は、アートのあるまちづくりを進めています。平成11年には市民・東京芸術大学・取手市の三者が共同で、取手アートプロジェクト(TAP)を立ち上げました。「アートのまち取手」で続いているTAPの活動を紹介します。



TAPの最新情報・詳細

▶「とくい(得意・特異)」を預け、引き出す 「とくいの銀行」

取り組みの一つに、「とくいの銀行」というちょっと変わった銀行があります。美術家が手がけた「とくいの銀行」は、自分なりの「とくい」を預け、他の人が預けた「とくい」を引き出して活用することができるアートプロジェクトです。「下手なバイオリンを弾く」、「メイクで変身！」など、「とくいの銀行井野本店」には約650件のユニークな「とくい」が登録されています。

「とくい」を引き出す際に登録者を結びつけたり、当事者以外も共有できるイベントなどを開催し、住民同士の交流を育むきっかけとなっています。

とくいの銀行でバルーンアート作りの「とくい」を引き出している様子▶

